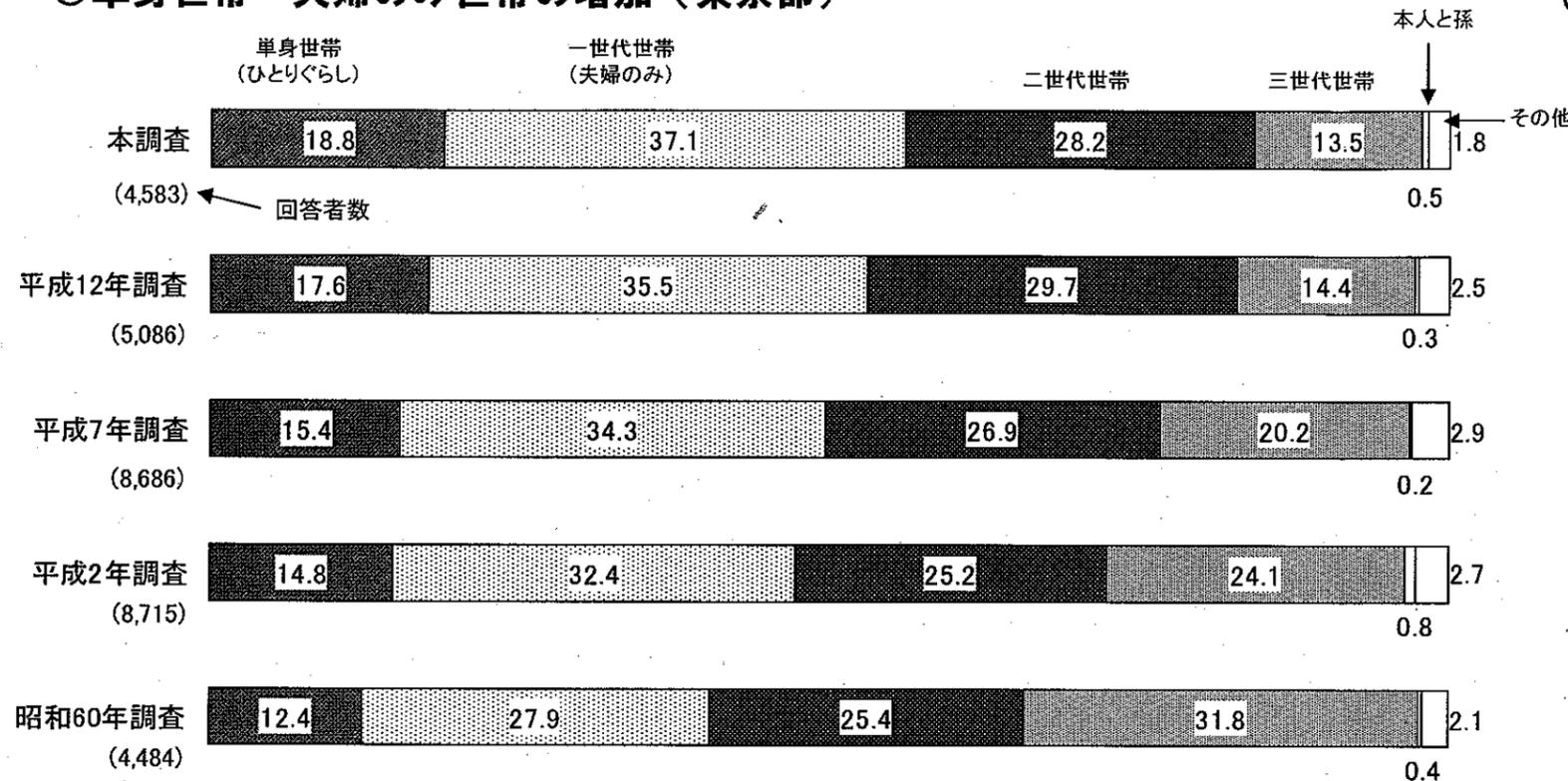


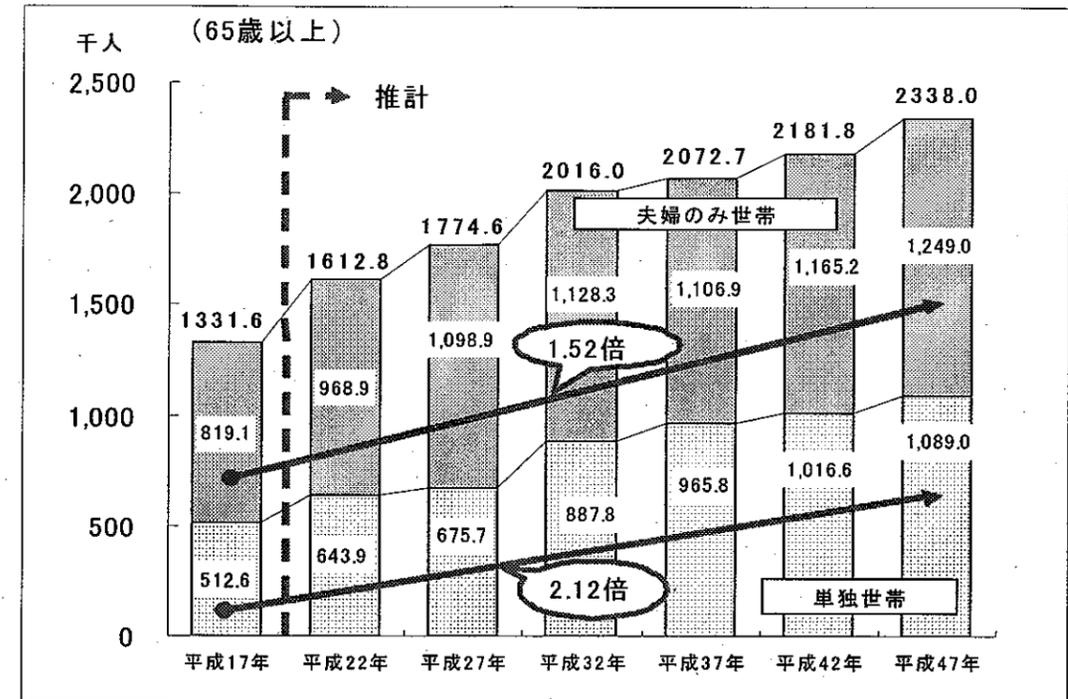
高齢者の暮らし方の変化

○単身世帯・夫婦のみ世帯の増加（東京都）



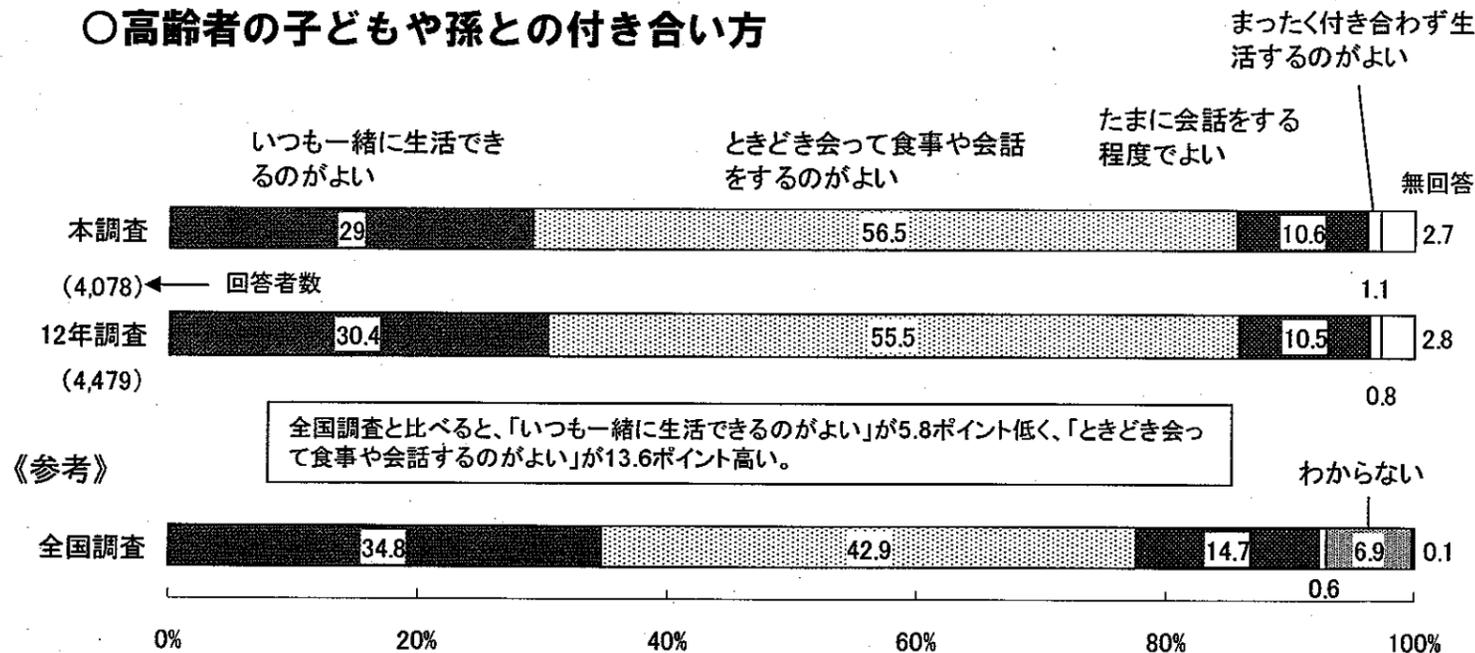
親・子・孫で暮らす「三世帯世帯」は昭和60年の31.8%から、平成17年の13.5%と、20年間でその割合は大きく減少。この傾向は今後も続く予想。
 (資料)「高齢者の生活実態(平成17年度)」より

○高齢者のみ世帯（単独・夫婦のみ）に属する高齢者の推移



単独世帯と夫婦のみ世帯に属する高齢者は、10年後の平成27年には177万5千人となる。
 (資料)「東京都地域ケア体制整備構想」より

○高齢者の子どもや孫との付き合い方



(資料)「高齢者の生活実態(平成17年度)」より
 内閣府「高齢者の生活と意識に関する国際比較結果」(平成18年度)

○別居している子との接触頻度

	ほとんど毎日	週に1回以上	月に1~2回	年に数回	ほとんどない	週1回以上	月に1~2回以下
日本	16.7	30.1	34.9	15.7	2.6	46.8	53.2
(うち男)	12.9	31.8	35.1	16.5	3.6	44.7	55.3
(うち女)	19.8	28.7	34.7	15.1	1.7	48.5	51.5
韓国	23.2	43.7	25.4	6.2	1.6	66.9	33.2
アメリカ	41.2	39.6	12.5	5.0	1.7	80.8	19.2
ドイツ	24.8	33.8	18.2	19.6	3.7	58.6	41.5
フランス	28.0	39.2	18.6	11.9	2.3	67.2	32.8

(資料) 内閣府「高齢者の生活と意識に関する国際比較結果」(平成18年)

(参考)「高齢者の生活実態」(平成17年度)

東京都が社会福祉施策推進の基礎資料とするために実施している調査(東京都社会福祉基礎調査)の1テーマ。高齢者については5年ごとに調査を行っている。

対象者: 基準日(17.11.1現在)65歳以上の在宅高齢者 6,000人